



### 稲作に懸念なし

#### 恐れるのは稲熱病 病の豫防はホルドー液

二百廿日迄には決まる結實

石城地方に於ける稲作に氣遣はれる天候は栽培の大部分を占むる晩生種の開花から乳熟に至る約一週間に差かゝる來九月四、五日頃から二十二、三日に至る二百廿日の荒れ日迄で此の間の天候さへ良ければ不安はない此の間に相當の日照があり温度の如きも朝夕の冷涼は大して差支がなく午前九時から午後二時頃まで攝氏二十度以上三十度の程度を

### 石城は割合によい 経更指定村の成績

#### だが山村だけは香しくない

#### 機部主事補の指導督勵談

石城郡には昭和七年以來の経更指定村十四ヶ町村を算し、入道野、大浦、錦四ヶ村は初年度指定で本年三ヶ年に達入つてゐるが右指導督勵のため相馬郡福田村から双葉郡の大久、大堀兩村を見て一昨二十四日來郡した縣の經濟史生機部主事補は吉成郡駐在技手と共に當日午後泉村に三十名出席の委員会次へで二十五日午後入道野村に關係者七十名出席の協議會を何れも小學校に於て催されたが石城に於ける成績は概して良

### 江名水道の竣工式

#### 漁港落成式も 共に來月下旬

江名町では近く中の作漁港の落成式を舉行する筈で準備中

であつたが目下進工中の岡町上水道工事が今月中か遅くも來月中旬までには完成するので經費の關係もあるので水道竣工式と併せて九月下旬盛大に舉行することゝなつた

### 片倉製糸工場内に 女子青年校を新設

#### 二百の工女に九月から開校 青年學校令による認可

平町の片倉製糸では従來従業員のため余暇を興へて學業を授けピアノ、オルガンその他樂器類からミシン及び裁縫用具の一切及び各種運動用具等の設備は普通の學校に劣るものでなかつたが今回青年學校令により私立片倉製糸女子青年學校の設置を知事の認可を受けて來る九月一日から開校する同校の維持經費は會社の全負擔で十年後竣工に一千百圓を置き概數三百の生徒に對し専任一、兼任五名の教員を以て女子の心身鍛練と徳性の涵養に資し良民の素地を

### 初陣の昭和人緋軍 郡南の覇權を獲得

#### 第三回野球大會に優勝

秋田スポーツ協會主催第三回郡南野球大會は二十四、二十五の兩日に亘り植田町小學校球場に於て舉行參加九チーム二日間に行なはれた結果初陣決勝以後の戦績は次の如く各

日曜日 日曜日 日曜日

第一回	第二回	第三回
植田町小	植田町小	植田町小
植田町小	植田町小	植田町小
植田町小	植田町小	植田町小

### 産業購買組合の 雜貨販賣協議會

石城郡内産業組合の購買組合では今二十六日午前九時から二十五組合關係者を會し縣聯合から田邊主事補出張雜貨販賣について協議した

### 小名濱町會

林友	0 0 0 2 0 0 0 0
林友	1 2 0 0 0 0 0 0
人網	1 0 0 0 0 0 0 0
勿來	0 0 0 0 0 0 0 0

### 幼童惨死

湯本町字辰の口二五兵治五男佐藤健治(三)は二十四日午後六時ころ兄の昭(〇)と自宅で遊戯中誤つて縁側から轉落庭石に頭部を強打し腦震盪を起し二十五日朝絶命した

### 坑夫坑内で 感電惨死

好間村北好間炭礦坑坑夫長屋居住坑夫佐藤長孫(三)は二十四日午後九時半頃入坑作業

### 別世界の記

別世界の別荘に居る、無爲の行者達は、吾々下界の者共と違つて、一定の住居を持つて居る。浮草や懸知草諸君と同じ様に、昨日は東今日西と流浪の旅を續けられる

### 江戸から平へ！ 少年の泥棒行脚

#### 青雲の望み破れた少年が 歩いて來た悪の道

昨二十五日午後一時頃小名濱町字明神町地内を徘徊してある舉動不審の少年があるのを警邏巡査が發見取調の結果右は本郡警務村大字白鳥字坂下二一四生れ太田源四郎(二七)で昨年暮青雲の志を抱いて東京に出たが適當な就職もないところから途にレンベンの群衆を襲ひ現金二圓余を窃取し入り東都を放浪してゐたが父母戀しさから歸郷したくな

### 舞ひ戻つた白鼠 直ぐ平署留置場に

#### 主家魚清の帳場から 巧に盗み續けた百餘圓

平町古銀治町生れ當時住所不定無職石井勝之助(三)は去四月來平町二丁目魚清食堂の出前持に雇はれ中前後數回に亘り帳場から賣溜金五十餘圓を窃取した事發覺逃走したので平署で捜査中二十五日夜間々しくも南町鹿角街を一杯氣味で素見徘徊してゐるのを密行中の柏木、草野兩刑事が発見し、南町の間に咲く花に入れ揚げてゐたもの、身邊の危険を察知したので逃走水戸方面

### 好間経更委員會

石城郡好間村では來る九月一日午前九時から同村小學校に經濟更生委員百三十名名の總會を開き吉成郡駐在農林技手及び青山郡農技師臨席樹立事項の決定と方法を調査その他につき協議をなす

### 双輪競技會

新福島平支局主催の石城郡内双輪競技大會は來九月十五日午前九時から平町警中學校に於て開催(雨天順延)の筈であるが相當の前人氣を呼んでゐるから盛會であらう尙ほ競技參加希望者は同支局に申込みたいと

### 少年雇人出奔

安積郡富山村大字久保保染物業田代善平方雇人太塚光雄(二七)は二十四日午後八時頃風呂敷包一つ持つて無断主家を出奔平町方面に向つた形跡があるので二十五日平署に捜査方を願ひ出た

に潜伏してゐたがホトボリがさめた頃と同夜舞戻つて檢束

の杉の木の下にゴザを敷いて降りしきる雨の音に濡れながら、端然と座つて讀書されてる。その書物はラテン語の本かギリシヤ語の本か、それとも靈合戦の繪本なのか遠目には判然せぬが、兎に角時間経つても、頁をめくつたのを見たら人はない様だ。

郷土史抄

故濟先生の遺影を偲ぶ 大 (瀧川家の史料採訪) 鮫川 漁史

(四)新政の泉藩廳官員は概して戊辰の勤王固持者奥羽成辰の役に於いて、泉藩主本多忠紀は夙くから恭順を持したりと雖も、彼れの泉館陥落に先だちて、同盟藩の強要のまゝに北走した結果に對し、朝廷は一時之を重視した。が、家臣松井兵馬の烈死、桑原、北郷、瀧川等の勤王運動等に因つて、戊辰○定後、その大罪は辛くも宥されるに至つた、嗟呼明治大帝の宏大無邊なる聖慮は畏きこと謂はんかたなしであらう。

斯くて新政の布かるゝや、忠紀は恐懼に耐へざるため、養子忠伸を嗣子となし、同二年六月二十二日、延享以來の連綿たる版籍を奉還した。是れに於いてか朝廷は、彼れの苦衷を憐察して、其の日同藩知事に任じ、舊來の封土を更承して、政令を一途に仰ぐこととなつた。

此の際の泉藩在廳官員は、概ね義に歸順を主張した舊藩士中から拔擢して採用した。其の重なる人名に就いての記録は、予の史庫に在つたが、何れに藏ひ込んだか一寸探し當らぬが、三年秋現在の者は幸ひに次の資料で知られる。

今般依 朝命、藩制改正いたし候に付、官員左之通回章を以て御案内申候也、

大 參 事 桑原 重宣  
同 平野 廉  
權大 參 事 北郷 保定

少 參 事 龜田 一正  
同 兼 官 教 使 瀧川 山正  
大 同 山内 山彦  
同 平野 正海  
同 小林 減允  
同 小田 清暢  
權 大 同 半谷 高壽  
同 木村 元政  
同 桑原 重敏  
同 中村 富香  
同 中村 順平  
同 福田 保獻  
同 吉田 宗信

牛も豚も優良品の自慢  
肉の御 三三三屋 平町 田町  
用命は

清爽簡易な  
サマードレス  
……婦人用とお子さん用……  
特價品豊富陳列  
ツルヤ  
平四 電一四〇

便利で 経済な 日下家政婦會の  
● 派遣婦を御利用下さいませ  
身元確かで品行方正ですから  
何をお任せしても安心です  
平町字田町十八番地(西村屋横町)  
日下家政婦會  
會長 日下すい子  
電話(呼)一八九番

内科、小兒科  
大森醫院  
醫學士 大森 勇  
平町南町 電話二五八番

しづかに	食事の出来	る	正しい喫茶	正しい酒場
正しい喫茶	正しい酒場	平町	藤沼醫院	電話五〇七番

入院 應 需  
明雲堂眼科醫院  
平町南 電六六九番

目科療診  
一、齒科 一般  
一、口 腔 外 科  
一、レントゲン科  
中野齒科醫院  
院長 日本齒科 中野 惠次  
平町田町(松月堂向ひ) 電話五〇九番

高久病院  
院長 醫學士 高 久 忠

洋服は 高島屋  
注文並に既製品  
秋物 入荷  
澤山  
高島屋洋服店  
平町二丁目 電話三八六

産科 婦人科 長木村寅次郎  
外科 醫學博士 内木宗八  
藥局 藥劑師 立 蕃 彌 一  
平町新川町九一  
入院隨意 木村病院  
病室完備 電話一六四番

新時 附屬事業に等外看護婦部を特  
代の 設いたし皆様の御用向へ身元  
要求 確實なる婦人を派遣致します  
平町南町 電話三〇七  
平看護婦會  
會長 清野キヨ  
御手不足の御家庭  
い御病人の付添妊婦  
産婦の御家庭

高島屋  
品質高く  
良品質  
高島屋

好評 たる各種優秀藥  
カクレイ (三十三日分) 定價一四七  
スピロイン (定價一四七) 九回 十回  
平町五丁目角  
特約販賣店 山野邊藥局

安田系統の帝國海上  
帝國海上火災保險株式會社  
平町二丁目 電話一六一  
事務取扱者 阿部 助 次 郎